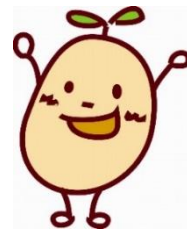


大豆の種をまいたよ



3年生は、いわみ(総合的な学習の時間)の学習で、毎年、大豆を育てています。「みのり会」の方のご協力で、毎年、たくさん大豆を収穫することができています。今年で15年目になります。

2021年6月2日(水)、暑すぎない種まき日和。「みのり会」の方のご指導のもと、大豆の種をまきました。これから半年にわたり世話を続けます。途中枝豆の収穫をして食し、秋には大豆を収穫し、最後は「太子味噌」を作る予定です。

大豆の種まきをととても楽しみにしていた子どもたちは、真剣にお話を聞き、1人10ポット(1ポットあたり3粒の種入り)を作りました。



例年は、たくさんの「みのり会」の方が来てくださるのですが、感染症対策のため、少人数でご指導に来てくださいました。また、例年、3年生全員で行っていた種まきは、クラスごとに実施しました。



終了後のふり振り返りタイムでは、「難しそうだったけど、説明が分かりやすかったのでできた。」「説明をしっかりと聞いたらちゃんとできた。」「10ポットも作れて楽しかった。」「知らないことが分かってうれしかった。これからは役立つと思う。」などたくさんの意見がでました。最後にお水をたっぷりあげて、鳥対策のかごをのせました。芽が出るのが楽しみです！



木曜日と金曜日は水やりができるけど、土曜日と日曜日は学校がお休みなので水やりができない。この土日、雨が降らないと、土が乾いて芽が出ないかもしれないと聞き、子どもたちは、天に祈りました。「外で遊べないから、いつもは降ってほしくないけど、どうか、この土日は降ってください！お願いします！」